

沖縄修学旅行2日目



2日目の朝。夜は見れなかったホテルからの景色が綺麗に見えました。さすがに名前にリゾートが入るホテルでした。海の入る時季であれば最高のところなんだろうな…。そんな朝でした。



・2日目はまず今帰仁(なきじん)城跡→亜熱帯園→かりゆしビーチ→万座毛→東南植物楽園→道の駅嘉手納→那覇ショッピングセンター→ホテルでした。

・亜熱帯園では長野では見れない木や植物が見れました。ジャングルの凄く驚きました。先生方がへびを見たらしくハブか？とすごくはしゃいでいて楽しそうでした。ハブ酒で確認したらやっぱりハブだったそうです。ハブ酒で確認するとは先生には恐れいりました。有名なハブとマンゴースは動物愛護とかの関係で今ではほとんど見れないそうです。少し見たかったので残念です。

・かりゆしビーチではグラスボートに乗りました。少し波があつてゆれました。乗り物酔いしやすい人にはかなり辛かったみたいです。海はすごい綺麗でした。いままで見たことのない魚、珊瑚礁、とても感動しました。ただ珊瑚礁はほとんどが死んでいました。地球温暖化の影響だそうです。

・道の駅では嘉手納基地を基地の外から見て戦闘機やら軍用車等間近で見る軍という物に緊張しました。丁度基地の移設問題という事もあったのでとても勉強になりました。

・夜は那覇のショッピングセンターでお土産を買いホテルへ。ホテルは1日目と違いビジネスホテルでしたが国際通り沿いだったので、国際通りを大変楽しめました。人の多さ、お土産屋の数など平日なのに大変にぎわっていました。夜はみんなだいぶはしゃいで遊んでいました。修学旅行の夜は楽しいです。

修学旅行3日目



・3日目は平和学習がメインという事で戦争に関する場所をまわりました。みんな3日目で疲れも出てきましたがガイドの桃原さんの元気と明るさでだいぶ助けられていました。

・まず沖縄で1番の観光名所である首里城へ行きました。本土とはまるで違う琉球特有の文化、中国など大陸の影響が出ている建物、部屋。いままで写真などで見て知ってはいましたが実物を見るとではまるで違いました。

・首里城の次はひめゆりの塔、そして平和祈念資料館へ。ひめゆりの塔は石碑の真下に戦時中実際に使われていた壕が大きな口を開けてあり、綺麗に整備されている場所とはいえ壕が戦争の痕を語っている気がしました。平和祈念資料館やその公園には戦争で亡くなった人たちの慰霊碑の多さに凄く心打たれました。資料館では戦争の資料が置いてあり、戦時中の写真は平和を考えるにはとても辛かったです。それほど悲惨でした。



・沖縄最後の夜は国際通りにあるステーキハウスで少し豪華に食事でした。目の前の鉄板でシェフの方が手際よく調理してくれて魅せる感じで楽しく食事ができました。大きなエビも美味しく沖縄で1番楽しい食事でした。沖縄旅行中は食べすぎで私の胃もうれしい悲鳴を上げていました。

～最後に～

沖縄修学旅行へ行き本当にいい経験、思い出になりました。
沖縄で見るもの全てが新鮮で、文化なんかは本土にはない建物のデザイン。方言なんかは教えてもらっても理解不能でした。ゆいまーる【人との縁を結ぶ《ゆい》がまわる《まーる》】というように素晴らしい言葉も教えていただきました。自然も地球温暖化による珊瑚礁の問題などもあります。素晴らしい海、そこに住む生物達などは神秘的で感動しました。平和学習は戦争の跡を見ることで戦争の悲惨さ、そしてそれがいかに沖縄の人たちを苦しめたか、資料や戦没者の慰霊碑、お墓の数を見れば感じる事ができました。そしてこれらの事はいま終わっている訳ではなく現在も進行形なんだと自分自身の肌で感じました。自然は人のせいで珊瑚礁が死んでしまい真っ白で問題の重大性がうかがえました。戦争も終わったとはいえ、沖縄には今も大きな軍事基地があり頻りに戦闘機が飛び、基地も中の様子がわからず、沖縄の人は住む家のすぐ近くにミサイルや戦闘機などがある生活をおくっている事が現実として残っています。これらの事を間近で見体験して、今後自分達がどうしていかなければいけないかを考えるようになりました。これから先の未来に美しい自然や、素晴らしい文化を終らせるわけにはいかない。先人達が築いてきたものをどう残し、伝えていくか大変難しいです。そのためにも今、そしてこれからもきちんとと勉強して未来へ、後の世代の人たちへきちんと伝えいけるように今後も頑張っていきたいです。

考える事も沢山ありましたが、それ以上にこの修学旅行は楽しかったです。仲間達と過ごした時間は本当に素晴らしいものでした。夜遅くまではしゃいで、遊んで、笑い、話した時間はこれ以上ない最高の財産です。仲間の意外な一面など普段見れないことも沢山見れました。沖縄の食事や自然も仲間達と体験することができて最高でした。それに修学旅行をリアルタイムでブログで更新していくという事もまた素晴らしい経験になりました。この思い出は高校生活最大の思い出になると思います。そして私の人生においてもかけがえのないものになりました。先生方をはじめ家族、添乗員の内川さん、ガイドの桃原さんそして何より一緒に旅した仲間達に感謝です。

2009年12月 基礎工学科3年後藤靖智